

## 平成 29 年度 事業報告

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日



### ◆ 法人の活動理念 ◆

#### 第3条

この法人は、子育て孫育てに関わる全ての人の「はじめの一歩」を助長し、「助け合う」「支え合う」「認め合う」「見守る」地域づくりを基本理念とし、地域と連携をはかり、繋がる・広がるネットワークづくりに関する事業を行い、子どもと大人、個と社会それぞれが、互いに「支え合い・助け合う」ことが自然にできる環境を目指すことを目的とする。

## ①子育て支援情報の循環整理事業

【事業名】子育て情報発信サイト 「あいちかすがいっこ広場」



### (1) 背 景

春日井市内には40団体以上の子育て支援団体があるが、その団体の活動情報を発信するサイトが団体を立ち上げた2013年の8月にはありませんでした。そこで、資金を集めWebサイトを制作し市内で活動している団体を中心に、掲示板として活用してもらい、子育て中のママやパパが情報をさっとみつけることができる環境を作りました。

### (2) 現 状

春日井市内外の子育て支援団体からの情報は「ハッピーマムズ」より発信しています。

そのため、このサイトは法人からの情報発信と、講座等申込・大和エネルフ株式会社マーケティングセンターの管理に利用しています。

### (3) 更新について

トップバナーの写真更新:月始

情報の更新:随時

メルマガの配信:毎月1日 1回配信 アクセス数:80/日

参照:ブログ 平均500アクセス/日 ・ メルマガ会員約900名前後

### (4) 成果と課題

#### 成果

子育て情報の一本化をし、当法人からの子育て中のママにとって有意義な情報を区別して配信することができています。また、毎月の0歳の親子広場の写真のダウンロードの為に新規利用者の継続拡大を行っています。

#### 課題

イベント(ママの文化祭)の情報と子育て情報が混同していて、『見にくい』と感じる利用者の声が時々届きます。特に情報が多感になる年末の発信方法は検討する必要があります。

### (5) 収支について

収入 0円

支出 51,768円

## 【事業名】子育て情報発信サイト 「春日井ハッピーマムズ」



## (1) 背 景

日々、子育てに奮闘する春日井のママ達へイベント情報を中心とした情報を発信し、ママ達の幸せな生活(=女性らしい活躍と自分らしさの実現)を応援するために、今までの市は市、民間は民間ではなく、「子育て情報」というくくりで情報を発信していくことを目的に当法人が29年度より業務委託を受け運営しています。

## (2) 現 状

4月	16,227	8月	17,105	12月	15,394
5月	15,900	9月	19,564	1月	19,004
6月	31,723	10月	18,797	2月	20,987
7月	24,532	11月	18,668	3月	21,844

## (3) 変 化

春日井市子ども政策課の方と密に情報交換ができる環境となり、「困っていること」が反映されており、より子育てしやすい街に近づく一歩を共に進めています。また、利用者の認知度も上がっています。

(0歳児親子広場での認知度は9割の方は知っているという状況にあります)

## (4) 成果と課題

## 成果

バナーの写真から「センス」を感じてもらえるよう、写真提供者をカメラマンの梅木美帆氏に29年度から変更しました。また、春日井市子ども政策課が発信していたメールマガジンを当法人が毎月1日・15日に発信し、そのメルマガのメッセージの部分をママスタッフで行い、親近感の湧くようなメルマガを配信しています。

## 課題

メルマガ会員の獲得と、メルマガの必要性の検証はしていきたいと思います。

## (5) 収支について

業務委託費(企画・素材収集一式)一式 324,000円

バナー収益 (3,000円×17=51,000円)

支出 15,098円

## 【事業名】プチサミット

## (1) 背 景

春日井市内を中心に活動する支援団体が、その他の地域やジャンルで活動している団体とつながり、意見交換ができる場づくりとして、プチサミット（意見交換会議）を開催しています。また、支援団体同士の連携を図る環境づくりや、支援者側の困りごとなどの共有をして、活動しやすい環境をサポートします。

## (2) 現 状

## ◆開催日と参加者人数◆

第17回 開催日 5月22日(月) 参加団体 5団体

第18回 開催日 11月13日(月) 参加団体 4団体



## (3) 変 化

団体同士の連携や、情報の交換が以前より容易になった環境になりました。

## (4) 成果と課題

## 成果

参加する団体が減少傾向にありますが、春日井市で活動している子育て主要支援団体との連携が図れるようになりました。

## 課題

3世代交流の必要性を感じています。30年度から開始しているささえ愛センターの業務スタッフと連携し、あらたな機会を設けたいと思います。

## (5) 収支について

収入 0円

支出 資料印刷費程度(1,000円未満)

## 【事業名】春日井市プラットフォームアプリ開発検討会議

## (1) 背 景

春日井市が新規に立ち上げる「スマートフォンアプリ」の開発に際し、情報発信している当法人に参加の要請があつたため委員として活動することとなりました。

## (2) 実施内容

第1回 7月25日(火)・第2回 8月22日(火)

第3回 9月22日(金)・第4回 11月29日(水)

第5回 12月19日(火)・第6回 1月23日(火)

第7回 2月20日(火)・第8回 3月22日(木)



## (3) 成果と課題

## 成果

行政の行う運営や、アプリの開発の流れ、意見交換の場の進行など、

民間とは異なる視点から市民の利用するアプリを検討されていることがわかりました。

## 課題

今回はアプリが一般に配信されて修了の任務だったため、特にありませんでした。

## (4) 収支について 特になし



## ②次世代育成事業

### 【事業名】ささえ愛センター市民交流会議への参加

#### (1) 背 景

春日井市の市民活動の要でもある「ささえ愛センター」にて活動を統括する「市民交流会議」があります。

その交流会議の役員の入れ替わりや世代の拡大を目的として、当法人代表の松元が役員に任命されました。

#### (2) 実施内容

4月6日・5月11日・6月1日・7月13日・8月10日・9月7日・10月5日・11月2日・12月7日

1月11日・2月8日・3月8日 全木曜日 14:00～16:00

#### (3) 変 化

今まで同世代の団体との交流が非常に多かったですが、どちらかというと孫育て世代の方との出会いが非常に多く活動の認知度を春日井市内で広げていくために参加不可欠だったと思います。

#### (4) 成果と課題

##### 成果

ささえ愛センターで開催されている、市民活動の発表の場や 100 以上存在する市民活動団体を知るきっかけを頂きました。

##### 課題

今後の社会課題でもある、少子高齢化。この対策として、市民活動団体の連携は地域力の向上と、地域の魅力づくり(シティープロモーション)になると思われます。

容易ではないですが、30 年度から始まるセンターの「愛ちゃん」(記事参照)を通じて当法人も力を注いでいきたいと思います。

#### (5) 収支について

収入 0 円

支出 0 円



### 【事業名】高齢者の街ニュータウンから美しい高齢者の街へ

#### (1) 背 景

高蔵寺ニュータウンにある、サンマルシェ様からのご依頼で会議室の有効活用と地域交流の場として利用するため高蔵寺で暮らし活動している「介護美容セラピストbtk」様に企画運営を行っていただきました。

また高蔵寺ニュータウンセンター開発株式会社様にはママの文化祭において商品のご協賛等いただいていることもあり、そのお礼を兼ねて提案する運びとなりました。

#### (2) 実施内容

第1回 6月9日(金)「ママとキッズUV講座」

第2回 6月16日(金)「50代からの美白ケア」

第3回・4回 7月14日(金)・7月21日(金)「ハンドセラピー & 健康体操」

第5回・6回 8月18日(金)・8月25日(金)「立体美眉レッスン」

各回 10:00～11:30 参加費 500円(この収益は介護美容セラピストbtkへ)

### (3) 変化

今回は大きな変化は特になかった。

企画してくださった介護美容セラピストbtk様にとっては集客・告知の方法を考える機会になりました。

### (4) 成果と課題

#### 成果

既に地域での文化やお教室等の地域コミュニティが既存しており、なかなか参加に結び付けることができませんでした。

#### 課題

世代交流の手法として、30代の女性と50代以上の女性の交流は高蔵寺ニュータウンという土地柄ではまだまだ当法人は無名です。すでに長期的に活動している東部ほっとステーション様と今後地元の団体が連携してけるよう協力します。

### (5) 収支について

収支 0円

## 【事業名】なんでも聞けちゃう交流会

### (1) 背景

イベント主催者として、「出展の心得」や「出展者として意識すべき事項」などを、ハンドメイド歴が20年以上でママの文化祭に第1回から出展いただいている方を講師としてお招きし、様々な意見交換を行いました。

### (2) 実施内容

第1回 6月19日(月) 第2回 9月21日(木) 10:00-14:00

大和エルフ婦人会会員センター 多目的室

### (3) 対象者

ハンドメイド作家として活動している人。これから活躍をしたい人

### (4) 成果と課題

#### 成果

出産後、ハンドメイドを始め、『このままでいいのかな』と疑問に思っている参加者

がほどんど、方向性を定める自信や、今後の自分の活動を考え直す機会に

なったということがわかりました。



#### 結果

この交流会を機に次年度育成事業を行うことにしました。

企画名「ママフレ会員」

### (5) 収支について

収入 第1回 5,500円・第2回 3,500円 9,000円

支出 第1回 4,000円・第2回 3,000円(講師への謝意) 7,000円

【事業名】～つながることの大切さ～ あいち防災サミット(あいちモリコロ基金助成事業)

(1) 背 景

昨年度、あいちモリコロ助成金で立ち上げたこのプロジェクト。

助成金が各地に活かされ、そして、ネットワークを強化することができました。



今回、「犬山災害ボランティアコーディネーターの会」様から、このネットワークへの

協力依頼があり、犬山市での防災ネットワークの強化に当法人として協力することとなりました。

12月4日に防災ママカフェを犬山市の子育て支援団体「NPO法人こどもサポートクラブ東海」様と連携し

第5回ママの文化祭で「犬山災害ボランティアコーディネーターの会」様に場所を提供し、バックアップしました。

(2) 実施内容

2017年12月4日(月) 10:00～13:00 犬山国際観光センター

2018年1月19日(金) ママの文化祭にて



(3) 成果と課題

成果

発災時の赤ちゃん連れの「困りごと」に、災害ボランティアコーディネーター

の皆様が直面し興味を持ってくださいました。また、今まで防災について本格的に活動を行っていた団体も

「ママの防災」は今まで目に留まっていなかつたため、貴重な会になりました。

課題

団体同士がつながるためにには、お互いが「必要」だと感じなくては継続的に活動していくことは難しいことがわかりました。

(4) 収支について

収入 業務委託一式 300,000円

支出 68,106円

※その他参加した防災の活動

災害ボランティア愛・知・人 語り部の会 災害ボランティア体験会 3月25日(日)10:00-16:00

【事業名】第4回子育て支援者養成講座

(1) 背 景

「子育て支援者養成講座」は子育て支援をテーマに子育て中の母親だけでなく、地域で活動している方々やこれから結婚する世代・学生がつながる場を生み出すため、ママの文化祭に向けて毎年開催します。

学び→実践→振り返りをすることで、高めた意識が地域の財産になると考えています。

(2) 実施内容

開催日	講師名	内容
第1回 11月8日(水)	NPO法人あっとわん 代表理事 カわの ゆみこ氏	「子育て環境を知る」
第2回 11月29日(水)	玉葉会 乳児院	「子どもを育てるということ」
第3回 12月6日(水)	かすがい☆スキンシップたいむ 看護師 小菅 祐美	「子どもの成長」

第4回 11月30日(水)	コーチングマーム代表 三浦真弓氏	「子どもと社会の問題」
第5回 12月14日(水)	春日井市消防本部より	「救命講習 60分」
第6回 1月19日(金) または 1月25日(木)	第5回ママの文化祭 または 親子広場の参加・見学	「実践」
第7回 2月7日(水)	NPO法人あいちかすがいっこ 代表理事 松元永己氏	「実践についての意見交換・ 振り返り」 「修了式」

今年は参加者の受講料も託児の費用も有料にしました。

今まで受講料を無料にしてきたのは、誰もが受講することで後に地域の財産になると想っていたからですが、無料の為「とりあえず受講」が多く、志に温度差を感じられるという意見があったため、今年度から有料にしました。託児についても有料にさせていただきました。

### (3) 変化

昨年度までは「ママの文化祭」に必ず関わることを前提にしていましたが、イベントを好まない方は最後までの受講が難しいと感じられたこともあり、「ママの文化祭」もしくは「親子広場」のどちらかへ参加していただきました。

### (4) 成果と課題

#### 成果

皆勤した受講生8名に「子育て支援者」として修了証を贈呈しました。そして、企業からの参加は様々な視点から支援を考えるうえでとてもよい機会になりました。

また、受講生自身が今後も繋がり続けたいという意思を現わしていました。

#### 課題

保育を併用すると、どうしても収支のバランスがとりづらくなります。

### (5) 収支について (参加者人数8名 11/29のみ受講者4名)

収入 59,000円

全講座受講 5,000円×5名=25,000円

10,000円×3名=30,000円(企業枠)

1/29受講 1,000円×4名=4,000円

支出 72,200円(-13,000円)

講師謝金 10,000円×3名=30,000円

5,000円×1名=5,000円

託児費用 1,000円×6回=6,000円

1,300円×2時間×2名×6回=31,200円



## ③地域交流・活性化に伴うイベント事業

## 【事業名】ちょっと小さなママの文化祭

## (1) 背 景

春日井市内に問わず、「ママのはじめの一歩」を助長するイベントとして、「~みつかる つながる ママのネットワーク~ちょっと小さなママの文化祭」を開催しました。地域の企業様とその地域で活動する方の連携を図り、新たな関係を築く機会を作っています。

①in 一宮

②in ナゴヤハウジングセンター春日井会場 #梅雨を楽しもう アートフェス

## (2) 実施内容

①平成29年6月30日(金)10:00~15:00

いちい信用金庫本店 ホワイエホール

平成29年10月28日(土)10:30~15:00

1ビルシビックテラス

②平成29年3月24日(土)10:00~15:00

大和エネルフ(株)カスタマーセンター

平成29年7月1日(土) 10:00~15:00

ナゴヤハウジングセンター春日井会場



## (3) 従事者

①一宮市子育て支援団体アイリーファムスタッフ

②当法人4名

## (4) 成果と課題

## 成果

今年度で4回目となるママの文化祭@一宮ですが、ようやく団体同士の

信頼関係が構築でき、また自団体での運営が可能となりました。(当日のみのお手伝い)



## 課題

次年度は未開催地域での開催を目指します。

## (5) 収支について

収入 221,690円

①委託費 29,690円(全体の収益203,000円の15%・760円値引き)

30,000円 59,690円

②企画料 150,000(円)

出展料 12,000円/6ブース 162,000円

支出 10,000円

②イベントスタッフ人件費 10,000円

## 【事業名】中日新聞マーケティング座談会

## (1) 背 景

ママの文化祭にご出展いただいている尾張中日新聞販売店様からの依頼で「マーケティング座談会」を行い、情報発信を行う当法人と、紙面を通じて発信している中日新聞社との意見交換を行いました。



## (2) 実施内容

平成29年7月14日(金)10:00~12:00

中日新聞本社 北館401号室

## (3) 従事者の人数

当法人より1名

5名(新聞読者3名・未読者2名)

## (4) 成果と課題収益

## 成果

参加者の意識の向上につながり、また、各地の販売店に対して



当法人の事業について発信する機会になりました。

## 課題

通常座談会コーディネート時には 100,000円前後のお見積をお出ししているのですが、今回あくまでも「アドバイザーとしての依頼」と途中から方向性の変更がありました。結果終了後は満足いただくことができましたが、今後企業様からの依頼でマーケティングや座談会についてコーディネート料の発生しないものについては検討します。

## (5) 収支について

収入 15,000円

支出 3,000円×5名=15,000円

## 【事業名】「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクト イベント参加

## (1) 背 景

「ネピア」ブランド化推進プロジェクトの認知度の向上を図る各地の地域イベントに参加し、「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトのPR活動を通じて、地産地消のブランドとして地域で盛り上げています。また、市外の方に「春日井市の取り組み」としてPRも行ってきました。しかし、安価な紙製品の市場により、高品質で価格帯もママ世代が手にするきっかけが減少していると感じています。



## 「ネピア」春日井ブランド化推進プロジェクトとは？



### (2) 現 状 (主に紙おむつ配布)

日程	イベント名	配布枚数	開催エリア
4月28日(金)	刈谷防災イベント	50名	刈谷市
5月14日(日)	わいわいカーニバル	500名	春日井市
6月30日(金)	ちょっと小さなママの文化祭	200名	一宮市
8月3日(木)	sunny side marché VOL.12	200名	尾張旭市
9月15日(金)	ママライフエキスポ	100名	北名古屋市
9月24日(日)	助産院まつり	100名	春日井市
10月21日(土) 22日(日)	第41回春日井まつり	300名 (ホケッティショ 300個)	春日井市
11月23日(木・祝)	夢モリフェスティバル	200名	清須市

### (3) 変 化

今年度は、春日井市交通児童遊園の老朽化した自転車や備品を新しいものに変えるための費用として寄付していただきました。次年度は春日井市図書館が行っている「ブックスタート」の絵本の購入費用として寄付をされます。

### (4) 成果と課題

#### 成果

様々な場面でこのプロジェクトのPRをしているため、周囲の方から「あいちかすがいっこ＝ネピア」という認知度も上がっている様に思います。

#### 課題

実際の声として「安価な商品が家計にやさしい」と思うことは当然で、ただ、今後「子どもに還元されるならnepiaを買おう」という世代が増えるよう、寄付先を子育て世代に大々的に周知することを引き続き行います。

また、春日井市内でのPRは継続して行なっていますが、市外での活動にも積極的に参加し、企業とNPOが協働するモデルとなるよう引き続き行なっていきます。また、配布時にはママスタッフの雇用にも繋げていきます。

### (5) 収支について

収入 30,000円×12カ月=360,000円

支出 業務に含むため特に発生なし

## 【事業名】～みつかる つながる ママのネットワーク～ 第5回ママの文化祭®

## (1) 背景

このイベントは、～地域を巻き込み、みんなで子育て～をテーマに、ママが主役の地域が元気になるイベントです。100人以上のボランティアスタッフやママがこのイベントを支え、「ママ・パパ×学生×企業×子育て支援団体×地域×行政」それぞれが、必要な人とつながれる場を提供するために行います。

## (2) 実施内容

日時 平成30年1月19日(金)10:00～15:00

場所 春日井市総合体育館

## —来場者にとって—

自分と同じような環境の女性が頑張っている姿を見ることで、「私も何かやってみたい！」と感じてもらいます。

⇒実際に「来年は私も何かしたい」という声が集まりました。

## —参加者(ママ)にとって—

「ひとりの女性」として、認めもらえる場に。それぞれが達成感を感じてもらえること。

⇒幅広い世代との交流と、新たな人間関係の形成ができました。

## —学生(ボランティアスタッフ)にとって—

母親世代に当たる実行委員との関わりが、会社組織とは異なった新たな女性組織との関わりの現場になります。

⇒イベントにかかるパパやママの姿が、結婚しても「やりたいことができる」「輝ける場がある」という期待につながり、また、母親たちのパワーを感じ、子育てしながらでも自分のやりたいことを実現できると感じてもらいました。

## —企業・行政にとって—

「ママ×企業×行政」が繋がり、地域のニーズを目で見て、感じることができます。

⇒ママの文化祭を終えた企業様が、ママたちの動きに興味を持って下さり、積極的に関わってくれるようになりました。



## (3) 成果と課題

## 成果

来場者数 2,300組 延べ 4,600人以上

300人アンケート結果、「初めて来場した」が51% 春日井市民が70%と、地域を巻き込んだイベントとなりました。

**課題**

- ・ボランティアスタッフの確保
- ・来場者のルールを守る意識を高める
- ・託児制度の必要性
- ・ハイハイレース時間枠の設定変更
- ・2階飲食出展者への配置の見直し
- ・防災ブースの発信の仕方

**(4) 収支について**

収入 3,542,000 円

支出 1,452,683 円

**【事業名】春日井市移住定住促進プロジェクト 春日井コラム・座談会コーディネート****(1) 背 景**

昨年度参加者は30代から80代までの多世代をコーディネートし5回の座談会を行い、『その後どうなっているのか？』の報告会を兼ねて、座談会を行いました。そして、今年度最後に観光コンベンション協会のホームページに「LOVE春日井コラム」を提供し、春日井市の魅力を一般市民の多世代の方に提供いただいています。

**(2) 実施内容**

①座談会 平成30年3月23日(金)10:30～12:00

春日井商工会議所会議室 参加者 7名(内春日井市役所より1名・新東通信より1名)

②コラム 3月より週に1回コラムで春日井の魅了を発信

A:春日井市在住半世紀 孫育て中バーバ

「春日井市から出たことない」という根っからの春日井市民。孫の面倒を見るようになり、地域の昔と今との違い、そしてこれから続く春日井への想いをつづります。

B:春日井市在住12年 地域の活動でつながる街発見

「広報ってなに？」「町内会なんて入ったことない」そんな方に向けて地域の温かいお話を発信します。

C:春日井市転入1ヵ月 春日井のいいとこ探してます！かあちゃん

「春日井に越してきて何もまだわからない…」不安とドキドキの2児のママが情報収集したことを書きます。

D:子はかすがい 子育ては春日井

「地域を巻き込みみんなで子育て」そんな活動を通じて見えてきたことで春日井の魅力を発信します。

E:地元の大学に通う学生の目に映る春日井をストレートに発信

**(3) 変 化**

市民活動に積極的に関わってきましたが、同じ世代の方の意見を耳にすることが多く、活発な意見交換や新たな課題に気付きそびれることがあり、今回の様な多世代参加型会議は大変有意義な時間となりました。

#### (4) 成果と課題

##### 成果

多世代で座談会をできたことが大変有効的でした。

##### 課題

地方創生などの座談会で起こりうるが、「意見を吸い上げてフィードバックがない・または遅い」ということです。

また、どこまで実際に取り入れて春日井市として取り組むか？が見えてこない点が残念な点でした。

#### (5) 収支について

収入 コーディネーター式 24,800 円

支出 0 円

#### 【事業名】会員獲得活動

##### (1) 背 景

ママの文化祭で交流のある企業様を企業会員へのご案内をし、企業にとって有益なことと、当法人にとっての事業収益の向上につながる事業として行いました。

##### (2) 現 状

##### ◆ニーズ調査

業種によって、ニーズが異なりますが、「主婦目線」でのマーケティングや商品開発、現場レポートなどを行いました。

##### ◆会員内容

企業様会員年間 10,000 円または 30,000 円をご案内

#### 【会員特典】

- ①ママの文化祭への先行案内とブース配置の優遇
- ②会員向けセミナーの開催
- ③オフィシャルブログで企業紹介
- ④会社訪問しママ目線診断やイベントレポート

#### 【平成 29 年度企業会員】

- ・株式会社協和コーポレーション
- ・株式会社タチカイ
- ・株式会社エアリー歯科
- ・株式会社とも歯科こども歯科
- ・株式会社東邦ガス

##### (3) 成果と課題

##### 成果

獲得数は少ないが、企業からの依頼について、明確な価格の提示と応援企業会員として当法人のPRにつながっています。また 30 年度は 31 年度の事業に向けてホンダロジコム様と株式会社プランシェ様と取り組みを行うこととなりました。

**課題**

ママの文化祭で交流のある企業様を企業会員へのご案内をし、企業にとって有益なこと(売りたい商品のアピール)と、当法人が得意とする情報発信を統合させ、事業収益をあげます。

**(4) 収支について**

収入 110,000円(年度会費30,000円×3社・10,000円×2社)

支出 0円

**④子育て世代の交流、居場所を作る事業**

**【事業名】親子広場～なないろ広場～**

**(1) 背 景**

27年度から始まったこの親子広場。当時0歳の枠が0ヶ月～12ヶ月すべての0歳児を対象にしていましたが、100組以上の参加があるため、0～8ヶ月と9ヶ月～12ヶ月の2分割しており、その前半を勝川駅前の子育て子育ち総合支援館で活動する支援団体が担当しています。

**(2) 現 状**

参加者人数 以下参照

※8月は夏休みのため開催なし ※1月開催日は雪

開催月日	大人	0歳	1歳	2歳	3歳～4歳	合計
4月27日	68	67	1	0	0	136
5月26日	46	45	0	0	1	92
6月22日	71	69	3	0	0	143
7月27日	58	55	4	2	2	121
9月28日	39	38	1	0	0	78
10月26日	44	44	2	1	0	91
11月30日	41	39	1	3	0	84
12月22日	30	29	1	1	1	62
1月25日	10	10	0	0	0	20
2月22日	48	47	0	0	1	96
3月22日	51	50	1	3	0	105
合計	506	493	14	10	5	1,028

**(3) 変 化**

29年度より子育てサークルに謝金として1回につき

2,500円支給されることとなりました。

**(4) 収支について**

収入 2,000円×11回=22,000円

支出 24,959円



## 【事業名】ママと赤ちゃんのお部屋

## (1) 背 景

「事前予約なし・参加費無料」という誰もが参加しやすい条件で、かつ少人数の広場の開催はニーズがあつたため、『交流が図れる場』として当法人が提供する交流の場を今年度より設けました。

ママスタッフが進行をし、手遊びからおしゃべり会などを行い、新たな出会いの場にしています。

## (2) 実施内容と現状

10:00～12:00 大和エルフ株式会社カスタマーセンター内

時間内いつでも参加可能・無料

5月8日(月)	3名	6月12日(月)	8名	7月10日(月)	3名
9月11日(月)	2名	10月11日(水)	6名	11月6日(月)	1名
12月8日(金)	2名	2月1日(木)	2名	3月1日(木)	3名

## (3) 従事者の人数

ママスタッフ1名～2名



## (4) 今後の課題

ママたちのちょっとした悩みや相談が気楽に出来る場所になっています。

3ヵ月～7ヵ月の赤ちゃんが多く、離乳食の話題や、寝返りについての悩み、お風呂の入れ方などをみなさんでお話されています。

ただ、10時の開始時間には人数が少なく、沈黙の時間があるため、その間に赤ちゃんとのふれあい遊びをしたり、ママのストレッチなどを予定しています。

## (5) 収支について

0円

## 【事業名】環境学習 &amp; ドローン体験会

## (1) 背 景

大和エルフ様が新規参入された「ドローン」。

以前「子どもたちにも触れさせてあげたい」という声があつたため、環境学習(大和エルフ様の事業のPR)と合わせて、ドローン体験会を夏休み最後の企画として行いました。



## (2) 実施内容

8月29日(火)10:00～12:00 20組56名

カスタマーセンター3階 エルフホール 及び 屋上

## (3) 従事者の人数

当法人より2名

## (4) 成果と課題

## 成果

環境学習は、定期的に当法人としても開催する必要があると考えています。大和エルフ様との取り組みとして、毎年1回は開催していきます。

**課題**

ドローンの体験会と発信しましたが、個人所有のドローンだったため、所有者によってドローンの操作可能範囲がことなり、『触るより破損しない』という方に気持ちが行つたため参加者も思うように体験できなかつたようです。今後開催する際は、地元中部大学など、ドローンの研究を行つてゐる方の協力を得たいです。

**(5) 収支について**

0円

**【事業名】ふれあい事業「ブレスレット体験」****(1) 背 景**

春日井ライオンズクラブ様のふれあい事業の一部の企画を当法人でお手伝いしました。育成会様や肢体不自由者の会の皆様とさくらライオンズクラブのメンバーの方と一緒にブレスレットづくりを行いました。

**(2) 実施内容**

8月26日(土)9:00~14:00

ホテルグランドティアラ春日井

**(3) 従事者の人数**

当法人より2名・司会者として1名派遣

**(4) 成果と課題****成果**

今回大和エルフ株式会社長が委員長を務めていた事業だったため協力することとなりました。

また、今回ご招待されていた団体様(育成会様)については、カスタマーセンター利用も頂いているので、交流を図る場になれて良かったです。

**課題**

ビーズづくりということで、作業がしづらい方も一部いらっしゃいましたが、肢体不自由のお子様をお持ちのご両親様は「こんな機会今まであえてやらなかつたのでとても良い機会になった」というお声を頂き、とても良かったです。一方で介助する側の方からは「目が悪いので見えない」などという声もあつたため、今後同じような企画をする際は気をつけたいです。

**(5) 収支について**

収入 コーディネート費 100,000円

支出 材料費・講師謝礼 50,000円

**【事業名】助産院まつり****(1) 背 景**

春日井市内の助産師が中心となり、年に1度

「助産院まつり」を行つています。

春日井市内には産婦人科医の出産を選ぶ方が多い中で、

「助産院」を選ぶ方も少なくありません。そして、助産師が行う

“産後ケア”についてもたくさんの方に知って頂く場として行つています。



## (2) 実施内容

9月24日(日)10:00~14:00

春日井市社会福祉協議会 2階

## (3) 従事者の人数

当法人より2名 (その他春日井市内子育てサークルや団体が参加)

## (4) 成果と課題

## 成果

オムツの配布は予定より少ない数の配布でしたが、今回イベントに関わった方々との交流の場になりました。

## 課題

この助産院まつりには、春日井市でも働く助産師さんの参加もあり、民と官がもっと連携し集客の協力などを行い、地域で盛り上げるイベントだと感じました。

## (5) 収支について

協力費 2,000円

## ⑤母親の社会復帰を応援する事業

## 【事業名】4か月児健康診査サンプリング

## (1) 背景

ネピア春日井ブランド化推進プロジェクトの活動の一環として、春日井市で開催されている4か月児健康診査にて紙オムツのサンプリングを行います。その際に、ママスタッフを雇用し、社会とのつながりの場を提供します。

## (2) 実施内容

## ◆開催月日と配付枚数(1人3枚配布)

開催月	開催日					配付人数	配付枚数
	5日	12日	18日	19日	26日		
4月	42名	46名	41名	36名	42名	計 207名	計 621枚
5月	48名	53名	50名	35名	48名	計 234名	計 702枚
6月	44名	38名	40名	36名	45名	計 203名	計 609枚
7月	47名	51名	46名	43名	47名	計 234名	計 702枚
8月	41名	40名	38名	47名	41名	計 207名	計 621枚
9月	48名	46名	45名	33名	49名	計 221名	計 633枚
10月	41名	44名	44名	32名	44名	計 205名	計 615枚
11月	53名	41名	37名	52名	50名	計 233名	計 699枚
12月	48名	49名	46名	49名	41名	計 233名	計 699枚
1月	46名	43名	54名	53名	47名	計 243名	計 729枚
2月	51名	45名	53名	45名	51名	計 245名	計 735枚
3月	46名	42名	38名	42名	53名	計 221名	計 633枚
合計(延べ数)						計 2,686名	計 8,058枚

## (3) 成果と課題

## 成果

春日井市内で出産した赤ちゃんとママに98%以上確実に

お会いすることができるこの機会で、「4か月…うちの子もそんな時があった」などと感じながら、配布する機会にもなり、それが有償でできることは、配布するママにもプロジェクトにとってもよい機会となりました。

## 課題

この健診に来ているママ同士び会話がなく、当法人としては

ママ同士の交流の接点になれるよう「場づくり」を行うべきだと思っています。

## (5) 収支について

収入 50,000円×12カ月=600,000円

支出 配布スタッフ 25,000円/月×12カ月=300,000円



【事業名】大和エルフ株式会社マーケティングセンターの管理業務

## (1) 背景

平成27年より大和エルフ株式会社マーケティングセンター内のレンタルスペースの管理(貸館業務)を行っています。

予約管理や清掃等も当法人で行います。

## (2) 現状

今年度の稼働率は約70パーセントでした。前年度にくらべ2倍程度にはなりましたが、収入の部分では、当法人の利用の場合費用が発生しないため、収益としてはいまいちです。

## (3) 変化(会場費の改訂)

様々な媒体等で貸館のご案内をしているので、着実に増えています。

	会場名	【午前】9:30~12:30	【午後】12:30~17:00
3階	エルフホール(60名用会議室)	3,240円	4,860円
	社員研修ルーム	1,080円	1,620円
	中会議室	1,080円	1,620円
4階	大会議室(24名用会議室)	2,160円	4,320円
	中ホール	1,620円	2,160円
	多目的ルーム(16名用和室)	1,080円	1,620円
	屋上パノラマガーデン	2,160円	3,240円

## (4) 成果と課題

成果 昨年度の利用数からみると2倍程度の利用率になりました。

課題 収益につながる利用と、閑散としたビルの状況はあまりかわらないため、引き続き利用促進を行います。

## (5) 収支について

収入 4月から9月 208,420円 10月から3月 192,330円 計 400,750円

支出 116,313円

【事業名】ノックノックホームサポート事業

(1)目的

春日井市からの委託事業として、「子育て家庭訪問支援事業」を受託し、子ども(特に乳児)に対する虐待の防止や、母親の孤独育児からの救済として行っています。

(2)実施内容

◆子育て支援員基本研修内容◆

開催日	講師名	内容
第1回 9月1日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ 松元永己	「ノックノックホームサポートとは」 「自己紹介と交流」
第2回 9月8日(金)	NPO法人あつとわん代表理事 かわのゆみこ氏	「子ども・子育て家庭の現状」 「子ども家庭福祉」
第3回 9月15日(金)	かすがい☆スキンシップたいむ代表 小菅祐美氏	「子どもの発達と遊び方」 「子どもの事例に合わせたワーク」
第4回 9月22日(月)	日本コミュニケーション機構 シニア認定講師 加賀さらら氏	「コミュニケーションスキルの向上」 「グループワーク」
第5回 9月29日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ 松元永己	「実際に訪問する際の注意事項」 「修了式」
振り返り会 3月9日(金)	NPO法人あいちかすがいっこ 松元永己	「活動実績と検証」 「次年度について」

◆参加費 無料 参加人数(支援員) 8名

(3)成果と課題

成果

4月	1件	5月	0件	6月	0件
7月	0件	8月	0件	9月	3件
10月	5件	11月	1件	12月	0件
1月	2件	2月	2件	3月	0件

合計 14 件訪問

家族内での問題や、お子さまの病気の話などなかなか知人には相談しづらい内容の話相手になっています。

また一人目育児中の母親へ先輩ママとしてアドバイスなどしています。

課題

初回訪問するにあたり訪問員2人のコミュニケーションが不足していると、

訪問先で依頼者も不安になるため、事前に訪問員同士の打ち合わせは必要です。

子育て支援センターなどを紹介するにあたり、事前に訪問先周辺の交通手段を調査し、行きやすい場所を調べておくことも必要になります。



(3) 収支について

321,452 円

収入 416,452 円

第1四半期分 運営費 68,038 円 訪問費 1,404 円 = 69,452 円

第2四半期分 運営費 68,038 円 研修費 86,400 円 訪問費 9,720 円 = 164,158 円

第3四半期分 運営費 68,038 円 訪問費 17,604 円 = 85,642 円

第4四半期分 運営費 68,040 円 研修費 16,200 円 訪問費 12,960 円 = 97,200 円

支出 130,571 円

⑤女性のライフスタイルに関わる事業

今年度開催なし

以上